

第1回 土橋自然観察教育林 連絡協議会 議事録

開催日時：平成27年4月28日（火）19：00～21：00

開催場所：厚沢部町図書館視聴覚室

出席者：青柳秀和（社会教育係）、小森賢人（社会教育係）、水本絵夢（教育林コーディネーター）、協議会員4名

議事要点

- ・平成26年度土橋自然観察教育林関係事業報告について承認
- ・平成27年度土橋自然観察教育林関係事業計画について承認

協議事項1 平成26年度土橋自然観察教育林関係事業報告

4. 植物モニタリング調査

会員 A：モニタリングする植物の種類は。

水本：***（植物名）の6種。

会員 A：モニタリングの調査は確認できるか。植物の移動があるので、その変化を知りたい。

水本：今後は第2回の協議会で報告するようにする。

会員 A：何年やっているか。

水本：現在5年目。

会員 B：檜山振興局で***（植物名）の調査をやっていると思うが、情報の共有はしているのか。

水本：していない。

会員 B：厚沢部町が管理者なのでした方がいいのでは。

水本：検討する。

6. 教育林観察会開催事業

会員 C：江差の幼稚園に通っているが園内で話題となっており、園長等が日程等を知りたいとのこと。

水本：計画表やチラシ等の送付を検討する。

協議事項2 平成27年度土橋自然観察教育林関係事業計画

会員 A：水本さんが函館で行った講演（道南ブロック博物館協議会）はまたあるか。

青柳：輪番で行っている協議会の講演なので今年度の予定はなし。

7. 土橋自然観察教育林連絡協議会運営

会員 A：机上での話し合いも重要だが、現場でのやり取りも重要で、水本さん以外の町担当職員、林務担当も参加してほしい。

水本：そのように努力する。林務担当とも日程調整をしていきたい。

会員 B：上記に関連して、運営体制がどうなっているのか。徐々に出席者が少なくなっ

きているように見受けられえる。林務担当も出席回数が少なくなっている。

青柳：石井の異動等の人事異動等があり社会教育も現在1名減の状況で石井の仕事を割り振っている。会議においては林務担当との日程調整を行っていく。現在の体制は今後異動等があるかもしれないので落ち着いてから見直していきたい。

1 1. ヒノキアスナロ植栽地整備事業

会員 B：土砂流出保安林は見本林を含めヒバの植樹域も含まれるかどうか。住居等に近しい保安林として重要だと思う。

会員 B：P 1 1 図の210,216にかかる赤線のラインがあるが、記念植樹域のその範囲は民有林地ではないのか。

水本：確認する。

会員 B：特別母樹林に植樹（樹下植栽）は可能か。林業種苗法には植樹に関して規定はないが、樹下植栽は既にある木を切る前提で行うので、それが可能かどうか町農林課にまたは農林水産省に確認してほしい。また、母樹林に関して持ち主は町だが、母樹林指定は国が行っている。国がどの木を保護しているか町は管理すべきであるので確認してほしい

水本：確認する。

その他 懸案事項等自由討議

会員 B：木橋の修理はどうやるのか。

水本：基本的には業者に委託し部分的に修理。

会員 B：前回全面改修からは10年もたなかったもので、詳しい方に長期間もつ材等専門的な意見を聞いて、それを参考にやっていくべきではないか。

青柳：今後予算計上の際に材等長期間もつようなもので計上していきたい。

会員 A：人事異動は今後あるかどうか。

青柳：わからない。

会員 B：記念植樹域の調査は行うのか。

水本：取り扱いについての計画を定める上で、既存の広葉樹大径木の位置やその広葉樹に影響しそうなヒバ植栽木群の範囲などの調査を予定している。

会員 A：クマ出没等の状況は。

水本：いまのところはない。